

# ながひさ



親子の交感を大事に、今こそ家読(うちどく)を

笠井 修

梅雨明けの報道が待ち遠しい今日この頃です。先週から日本中で大雨の被害がありました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、来週から気温も上昇し、厳しい暑さが続きそうです。休日は暑さを吹き飛ばすべく家族で外出し、外の空気を一杯吸い込みたいところですが、コロナ禍の中、今年は大変難しい状況です。そんな中、SNSを通して「室内でできる簡単運動」「料理作り」「家族で楽しめるゲーム」等、様々な動画が配信されています。家の中で、家族そろっていろいろな過ごし方があると思えますが、これらの中には非入れてほしいものがあります。

昨今、外で飲まないで家の中の飲酒を楽しむ「家飲み」がはやっています。それに習って「家読(うちどく)」をされてみてはどうでしょうか。家の中で読書をするのですが、「子どもだけ」「大人だけ」ではなく、家族そろって全員で一冊の本を読み合おうです。

約六十年前になりますが、児童文学者で国語の教科書の『大造じいさんとガン』の著者である椋鳩十(むくはとじゅう)さんが、「母と子の二十分間読書」というものを提唱されました。「『教科書以外の本を、子どもが二十分間くらい読むのを家族が傍らに座って静かに聞く』、ただこれだけのことを続けましょう」という内容でした。その後これが大きな運動となり、「親子二十分間読書運動」として全国に広がりました。昭和三十年代の頃のことです。親がまだ十分我が子に関われない中、二十分間という時間を生み出すことにより、本の世界を通して子どもと親に深い絆ができていきましました。子どもが感じる喜びや悲しみ、感動や驚嘆などが親の心にも響いていったのです。

昭和の時代が終わり、平成から令和という新しい時代になった今こそ「親子二十分間読書運動」の心根を「家読」という形で復活させることが大事だと考えます。

「子どもが読むのを親が聞く」だけでなく、「一冊の本を子どもと親が交代で読み合う」「親が読むのを子どもが聞く」など、やり方は自由です。さらに、きょうだいも交えて全員で交代読みをしても良いと思います。さらに、読み終わったら感想を出し合ってみるのも楽しいですね。椋さんは、なんと『漫画でもいいです』と言っています。文字がたくさんある書物だけでなく、時には漫画や図鑑、絵本なども良いと思います。「家読」を通して、親子が感動を交感・共有し、家族のコミュニケーションを深め、しっかりと絆を築き、楽しく明るい充実した日々を送っていただけだと思います。

昨年度の学校評価の児童自己評価で「本をたくさん読む」の肯定的回答の割合は六十八%でした。保護者や教員の「子どもたちは本をたくさん読んでいると思う」の肯定的回答も五割を切っていました。読書活動を推進していましたが、決して良い結果とは言えませんでした。今年度は、ぜひ、「読書大好き」な子どもたちが増えるよう、学校でも図書館教育を中心に取り組んでいます。そして、児童自己評価で八十五%を目指します。言語をはじめとした基礎学力の向上はもちろん、深い喜びやきめ細かく美しい情緒、感動と思考を育てる読書を家庭でも進めていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染が広がり、今までに経験した事のない一学期でした。感染予防のために、計画していた教育活動も十分にできず、保護者の皆様に子どもたちの様子を見ていただくことも難しかったです。二学期以降も、どのような状況になるのかは予想できませんが、子どもたちの安全・安心を第一に考え、教育活動を進めいきます。保護者、地域の皆様、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

★島根県教育委員会も家読を次のように考え進めています★

家読とは「家族での読書」の略、家族で読書の習慣を共有し、みんなで読んだ本の感想を語り合う活動。親子関係の希薄化が指摘される中、家族の会話を増やし、気持ちを通わせるきっかけになると注目されている。

## 全校 図書集会

七月二日に図書委員会が企画した図書集会がありました。この集会は読書活動の楽しさを味わい、本への興味を高めることをねらいとしています。図書委員による読み聞かせのあと題名クイズやスリ―ヒントクイズを出しながら本と親しみ、楽しいひと時を過ごしました。どの班の読み手も聞き手もとても上手でした。



## 四～六年 クラブ活動

六月十八日に第一回、七月二日に第二回のクラブ活動がありました。クラブは四年生以上の児童が参加します。今年度は児童の要望をもとに「スポーツ」「頭脳」「工作」「家庭科」「パソコン」の五つのクラブを開設しました。自分たちでやりたい活動を計画し、楽しんで取り組むクラブは子どもたちの楽しみな活動の一つです。次回は九月三日を予定しています。



## 六年生 銀山学習

七月七日（火）、石見銀山資料館の仲野館長さんにご来校いただき「世界遺産を学ぶ意義」「石見銀山の特徴」についてわかりやすくお話をいただきました。

「銀は宇宙で生まれた！火山が集まる場所に銀が集まる！大森地区には約九百もの間歩がある！江戸幕府を開いた徳川家康も真っ先に石見国をおさえた！」など子どもたちにとって初めて聞くことがたくさんあり、興味津々な様子でした。今後六年生は世界遺産センターや大久保間歩を見学したり、体験活動をしたりし理解を深めます。いろいろな発見をしながら、ふるさと大田の魅力に気づいてほしいと思います。



**安全で楽しい夏休みをお過ごしください！**

### 【連絡先】

長久小学校 八二・一三三三

### 【閉庁中連絡先】

平日 市教委総務課 八三・八一一九

土日祝 市役所代表 八二・一六〇〇

### 【八、九月の主な行事予定】

十一日（日）～十六日（日）閉庁

二十日（木）PTA第一回評議員会（一九時～）

三十一日（月）始業式・給食開始

九月一日（火）PTA交通指導

十二日（土）校内運動会（午前開催）

十四日（月）振替休業日・予備日